

## ハガルとサラ：奴隷の身と自由の身 ガラテヤ 4:21-31

1. 「女奴隷の子は肉によって生まれ、自由の女の子は約束によって生まれたのです。（ガラテヤ 4:23）」
  - a. パウロは奴隷の身として生きることと自由の身として生きることの違いをハガルとサラの場合にたとえています。（古い契約と新しい契約の下に生きる違い）
  - b. とらわれの身（奴隷）として古い契約の下に生きる者は自身の人間的な努力によって生きています。パウロは自分の意思によって神の約束を実現させようとするという意味で「肉」という言葉を使っています。
  - c. 自由（新しい契約）に生きる者は神の約束に信頼する者です。自分の思いや努力に頼るのではなく、神の約束に従って神のみこころを行なう者です。後ほど説明しますが、聖霊の導きに従う者です。
  
2. 「このハガルは、アラビヤにあるシナイ山のことで、今のエルサレムに当たります。なぜなら、彼女はその子どもたちとともに奴隷だからです。しかし、上にあるエルサレムは自由であり、私たちの母です。（ガラテヤ 4:25-26）」
  - a. 古い契約が魅力的に見え、クリスチャンをとりこにする理由は、それはかつて神ご自身が供えたこの地上で最も聖いものだと考えられたからです。
  - b. クリスチャンが新しい契約を受け入れにくい理由は、見たり聞いたりできず、人間の思考では相応するものがないものだからです。天上のエルサレムというのは私たちが見たり触れたり匂いをかいだり聞いたりできるものではなく、聖霊を通してのみ理解できるものです。
  - c. 現在エルサレムという場所が存在するように、天上のエルサレムもパウロが作り上げた空想上の場所ではありません。天上のエルサレムは実在するだけでなく、私たちの母と呼ばれるすばらしい場所なのです。
  
3. 「兄弟たちよ。あなたがたはイサクのように約束の子どもです。しかし、かつて肉によって生まれた者が、御霊によって生まれた者を迫害したように、今もそのとおりです。（ガラテヤ 4:28-29）」
  - a. 旧約聖書では、イシュマエルに代表される肉によるイスラエルとイサクに代表される霊によるイスラエルがありました。
  - b. 肉によるイスラエルは当初は無垢で害がないように見えましたが、霊によるイスラエルとは常に敵対するようになります。霊的イスラエルと肉的イスラエルは共存することができません。
  - c. 今日、肉的イスラエルは肉的クリスチャンに取って代われ、肉的イスラエルがそうであったように霊的クリスチャンに敵対し、彼らを迫害しています。
  
4. 「こういうわけで、兄弟たちよ。私たちは奴隷の女の子どもではなく、自由の女の子どもです。（ガラテヤ 4:31）」
  - a. あなたの霊的状态は肉的イスラエルですか、霊的イスラエルですか？霊的に自由なクリスチャンとして生きていますか？それでも肉的に縛られたクリスチャンとして生きていますか？
  - b. この世においては自分の考え、努力によって生きるのが正しいことのように見えます。しかし教会というのはユニークな共同体で、この世と同じ価値観や方法にとられるものではありません。私たちはこの世に属しておらず、神による自由を通してそのような生き方が反映されなければなりません。